

月刊 漫画

力口

12月
増刊号



つりたくにこ特集

月刊漫画
ガ
口
臨時増刊号

昭和四十一年四月五日国鉄東局特別扱承認雑誌第...四三号
昭和四十五年十月十三日国鉄首都増刊号承認第五八五三三号
昭和三十九年十一月十日第三種郵便物認可
昭和四十五年十二月五日発行 第七巻第十六号 通巻第八十五号

編集人 長井勝一 発行所 東京都千代田区神田神保町一の五五 株式会社 青林堂
発行人 電話(291)九五五六番 四九五番



作者 近 影



—つりた くにこ 特集号—

目 次

彼等	新作	つりた	くにこ
風と共に去りぬ			3
福の神			56
こんな話			63
女			87
アンチ			105
デシロク			129
六の宮姫子の悲劇			142
栄光への脱出			158
マダム・ハルコ			173
溝			192
彼女について私が語る二三の事柄			217
パンの耳を		柚木 加非	53
悪友の友		上野 昂志	54
カッ		ふじの たかこ	55
溝クイズ		ふじの たかこ	56
虫の女		桜井 昌一	104
噂の女		釣田 邦子	141
		勝又 進	232
		ふじの たかこ	232

発表年代順



ガロ臨時増刊号一覧表



👉 つげ義春特集①

孤独の奥底に沈んだりリズムを描ききった秀作短篇集

ねじ式、運命、不思議な絵、沼、チーコ、初葺がり、通夜、山椒魚、李さん一家、海辺の叙景、紅い花、西部田村事件。
定価 200円 (千共)

👉 滝田ゆう特集

日本的な大衆の欲望と悲願とを描いた独特のユーモア

玉の井界限0番地、インボの法則、ドレイタイマー、マイゴーストタウン、月は上りぬ、うわさの承譜、用心棒暁に死す、まじめなまじめなまじめな世界、海、あしがる、しずく、ラララの恋人、あいつ、彼女の世界
定価 200円 (千共)

👉 永島慎二特集

絶望と挫折の青春に未来と希望を与える永島マンガのあたたかさ

ク・ク・ル・ク・ク・パロマ、仮面、アシスタント、小さな世界、禁じられた遊び、少年の夏、生命、ふるやのもり、おそめこのへんか、雨月物語、かかしが聞いたかえるの話
定価 200円 (千共)

👉 勝又 進特集

あらゆる価値観を木端微塵にうち砕く四コママンガの魅力

勝又進作品集(450篇)、かっぱ郎(勝又進)、カンパスがそこにあるから(滝田ゆう)、ちんちんマーチ(林静一)。
定価 200円 (千共)

👉 林 静一特集

抒情と戦慄と不安の彼方に女の性の妖しさ、せつなさが漂う

大道芸人、吾が母は、巨大な魚、山姥子守唄、赤とんぼ、花ちる町、花の紋章、花さく港。なつかしのメロディ(勝又進)、赤色大作戦(佐々木マキ)。
定価 200円 (千共)

👉 異色マンガ傑作集

新たなマンガ創造のために試行錯誤する若き世代の姿

風っ子(永島慎二)、あいつ(滝田ゆう)、はやけた世界(池上遼一)、うみべのまち(佐々木マキ)、あめりか生れのせーるろいど(林静一)、エー漫画寄席でござーいござーい(ふじ沢光男)、埴輪の森の伝説(日野日出志)、はにわの世界(田代為寛)他。
定価 150円 (千共)

👉 池上遼一特集

正統派劇画の後継者が試みた観念と想念の世界の苛立ちと恐怖

夏 禁猟区、地球儀、無風時間、片目男の独白、はやけた世界、かげろう、白い液体、雪国、スリッパ
定価 200円 (千共)

👉 楠 勝平特集

生きるとは、愛するとは、江戸庶民の喜怒哀歓をつぶさに描く

名刀、いざかや、おせん、殿さまとざらざらした味、喧嘩、鎧、冷たい涙、参加、どろ棒とこん棒、茎、臨時ニュース
定価 200円 (千共)

千代田区神田神保町 1-55 青林堂 電話 (291) 2495・9556



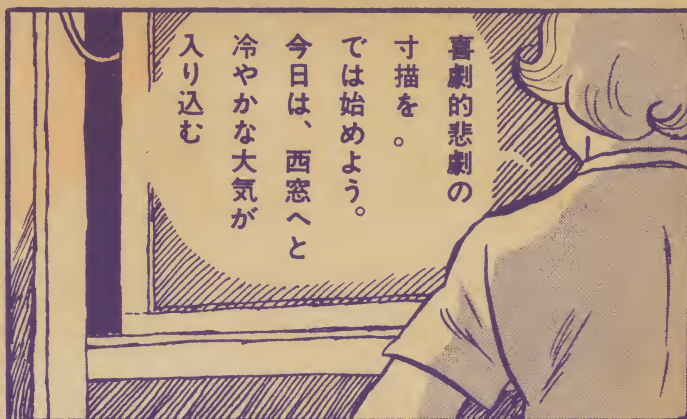
本特集の前に
結集された諸君、
取分、立ち読み中の
諸君に、
熱烈な連帯
を表明します！

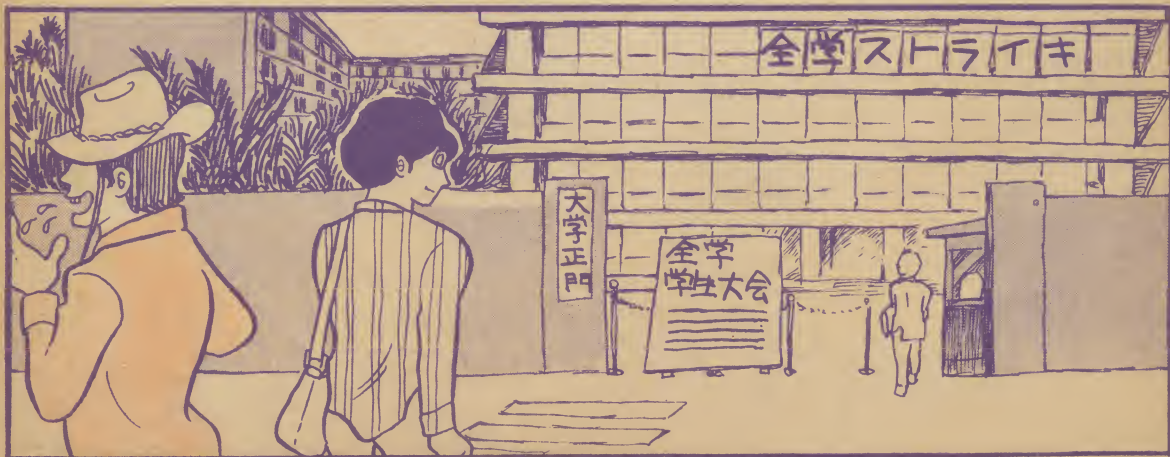
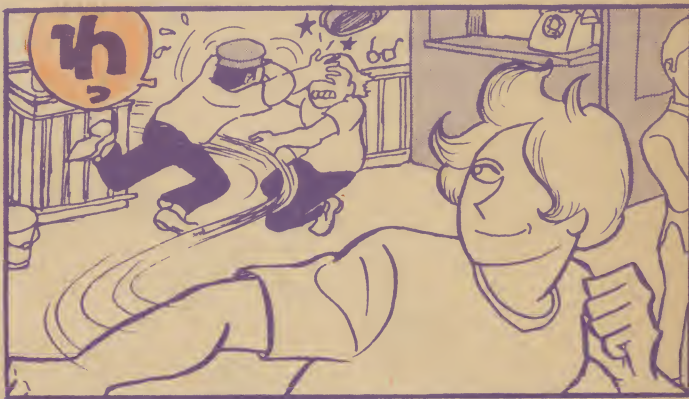


彼等



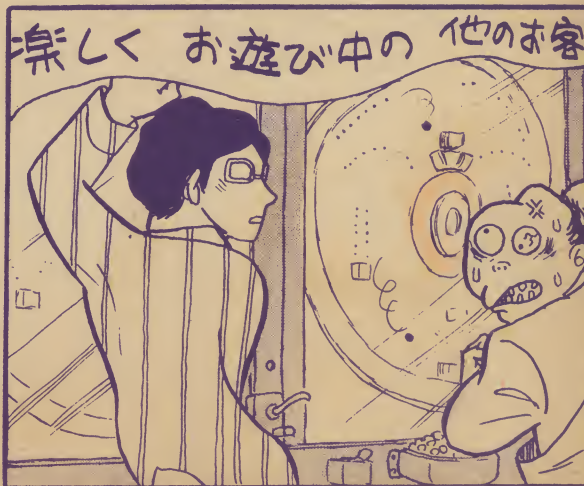
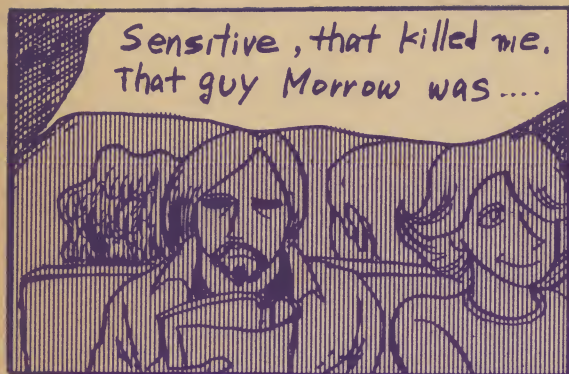
愚者達、輕薄の仲間

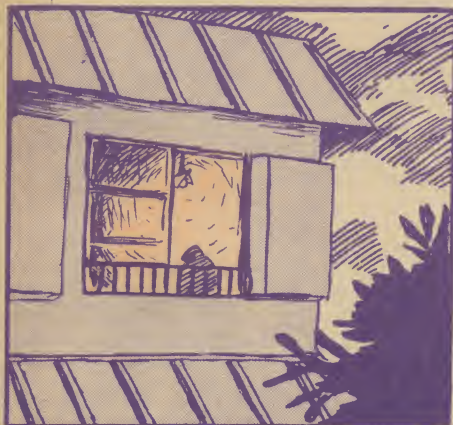


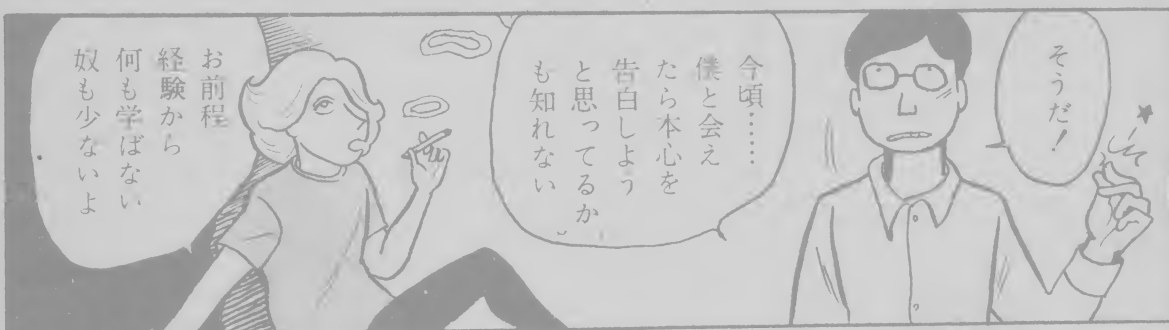
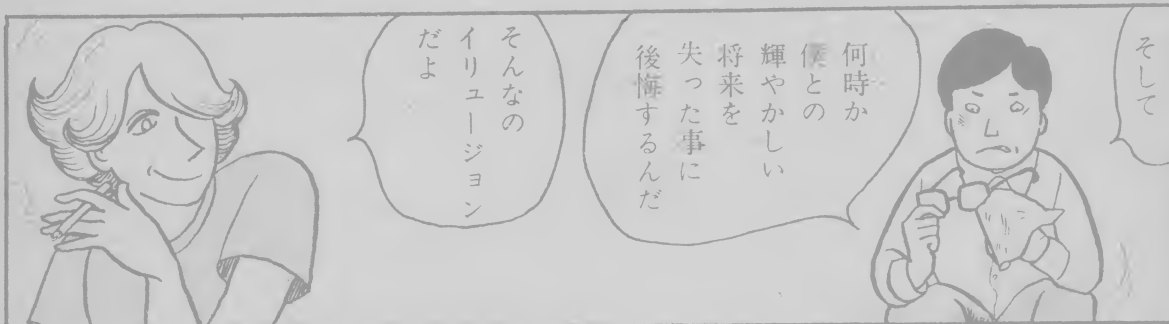




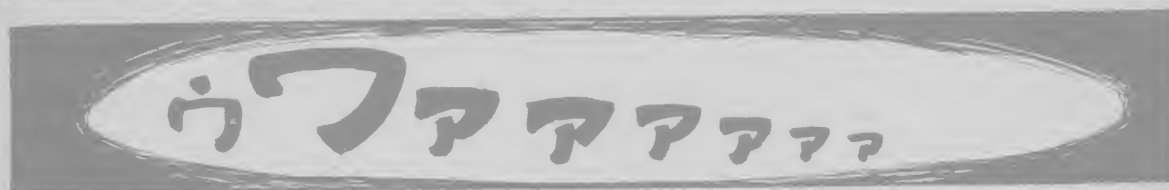
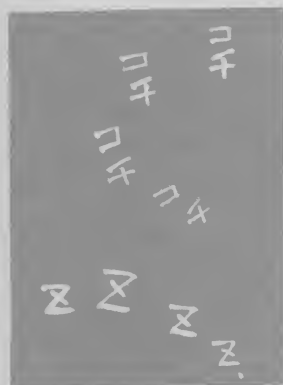














凄く恐ろし
かった！



夢だったの
か……

起きれば
地獄さ

ハア
ハア



哀れな
兄貴だ



だたっ広い所に
俺が居て……

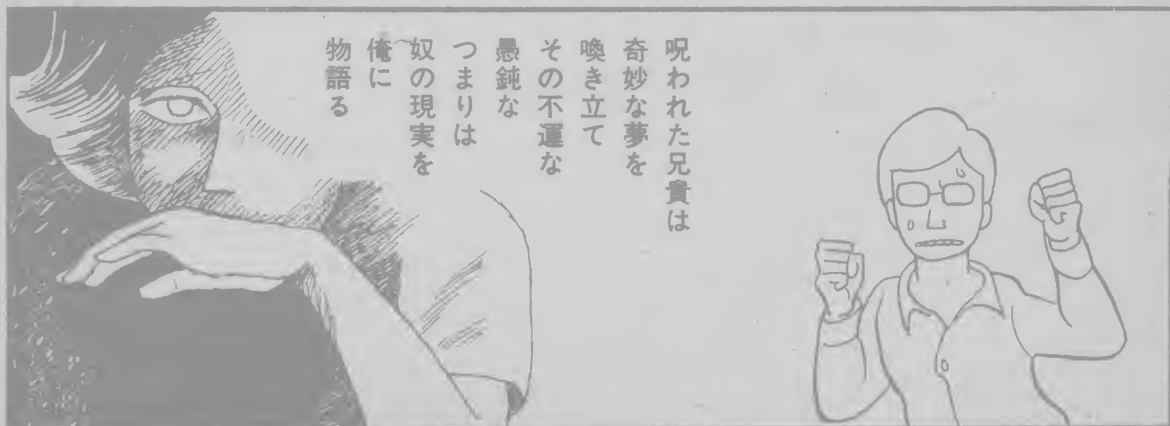
空には
こんな
大きい
惑星が！



僕が孝子さんと
呼んで走ってくと
彼女の前で
転んで……

ガマガエルに
さわっちゃっ
て……変な婆
あが「抱き、抱
きしてネ」と
言うんだ

奴の部屋に
泊る度
幾夜
寝苦しい
夜を
記憶する
事か



呪われた兄貴は
奇妙な夢を
喚き立て
その不運な
愚鈍な
つまりは
奴の現実を
俺に
物語る



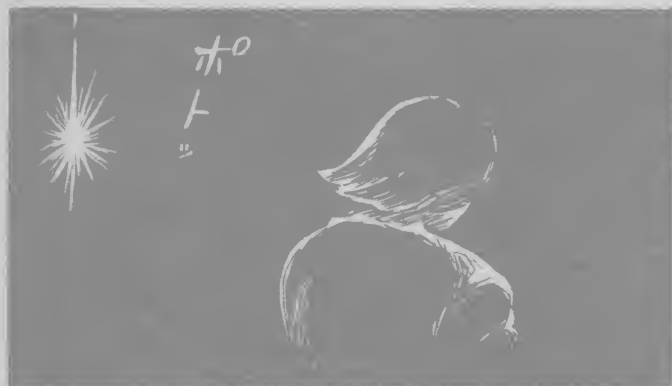




昼寝から醒めた
子供の様な
気分になる



時々僕は
人気がない
黄昏の部屋で



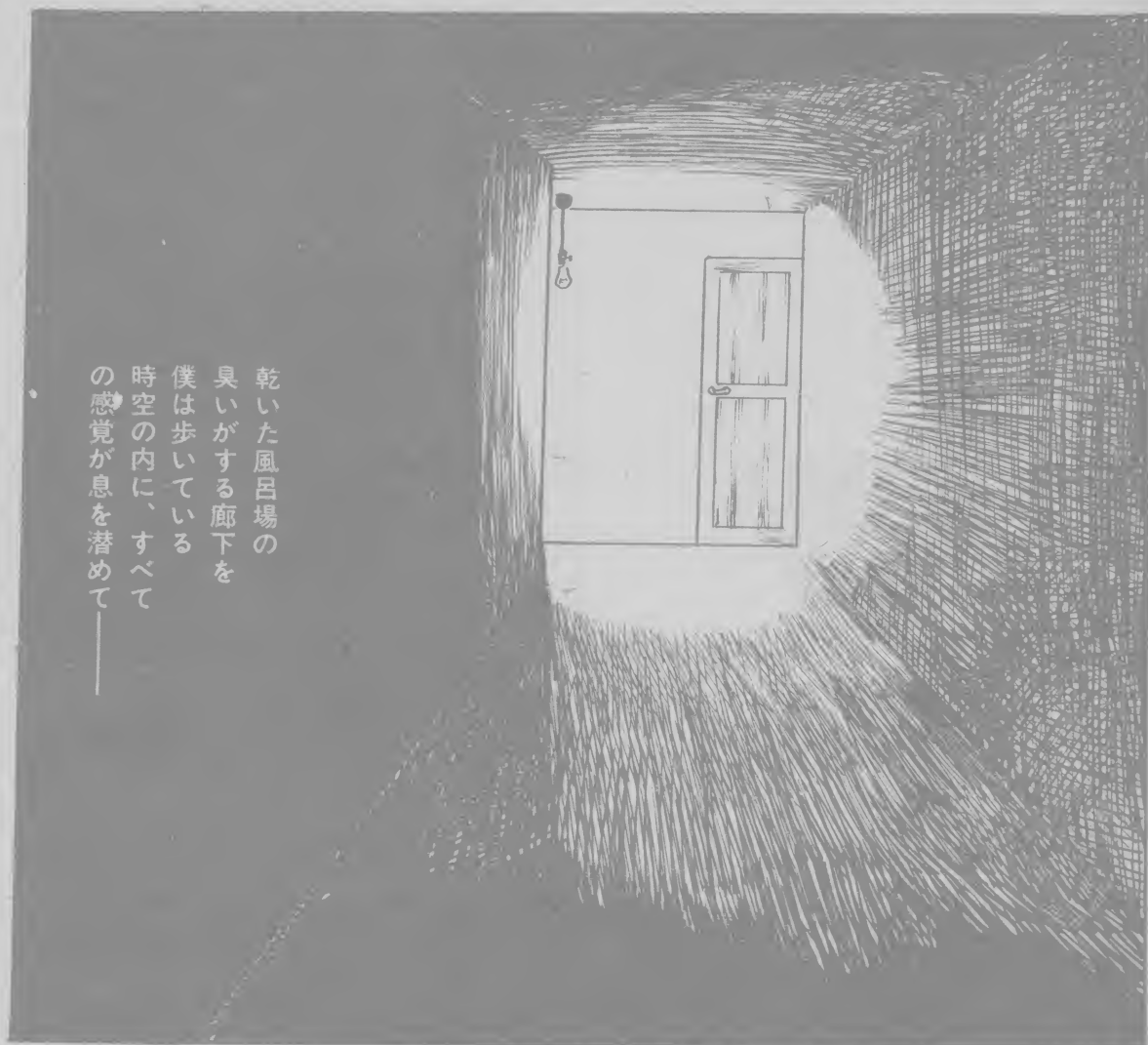
ホ
ト
ッ



ホ
ト
ッ



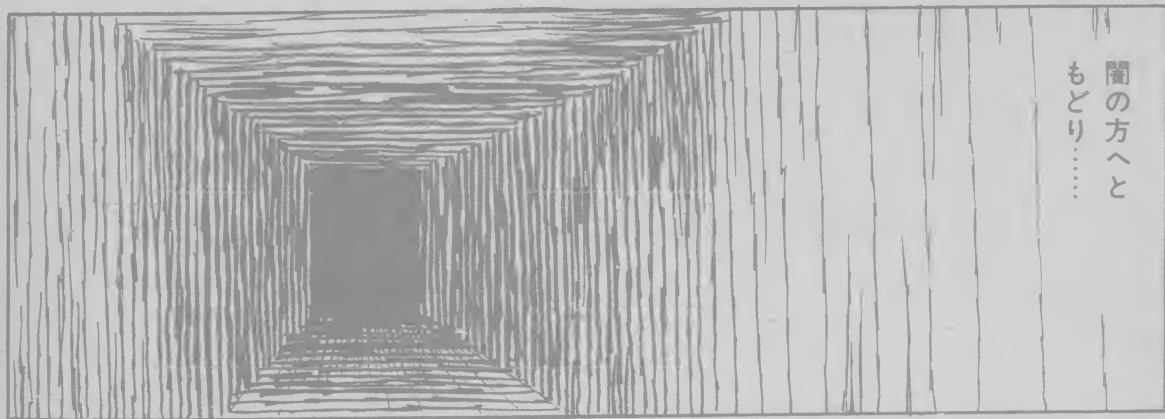
毎晩
徹夜してると
必らず経験する
感じがあるよ
……習慣みたい



乾いた風呂場の
臭いがする廊下を
僕は歩いている
時空の内に、すべて
の感覚が息を潜めて――



僕は手を洗い
鏡に写る自分の
背後に注意する



闇の方へと
もどり……



背後の緊張に
僕は振り返る



部屋に入りこむ
瞬間



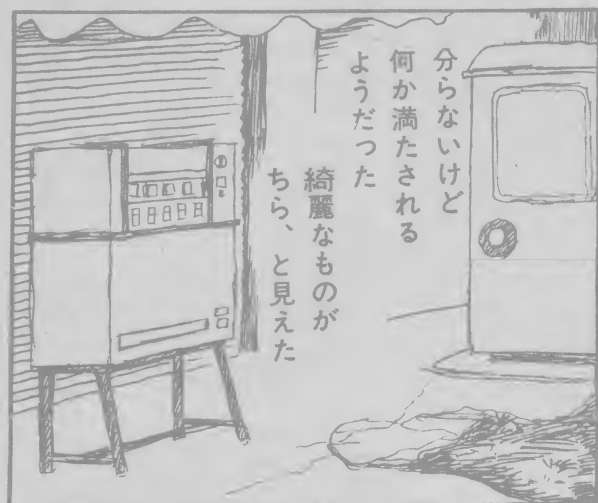
すると
一切が鳴り出す
炸裂する
主調低音、
肉声の戦慄

……そんな処だ



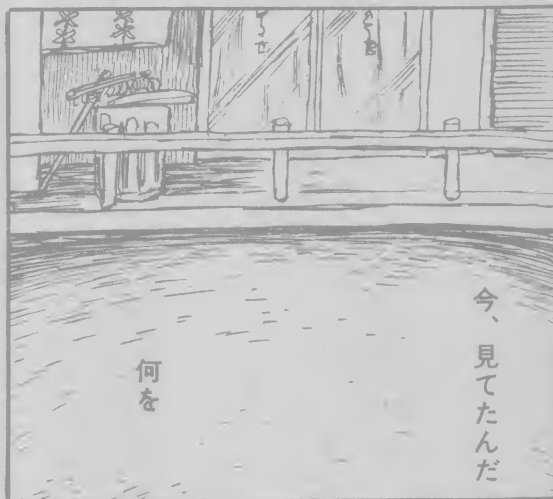
静かに

えっ！



分らないけど
何か満たされる
ようだった

綺麗なものが
ちら、と見えた



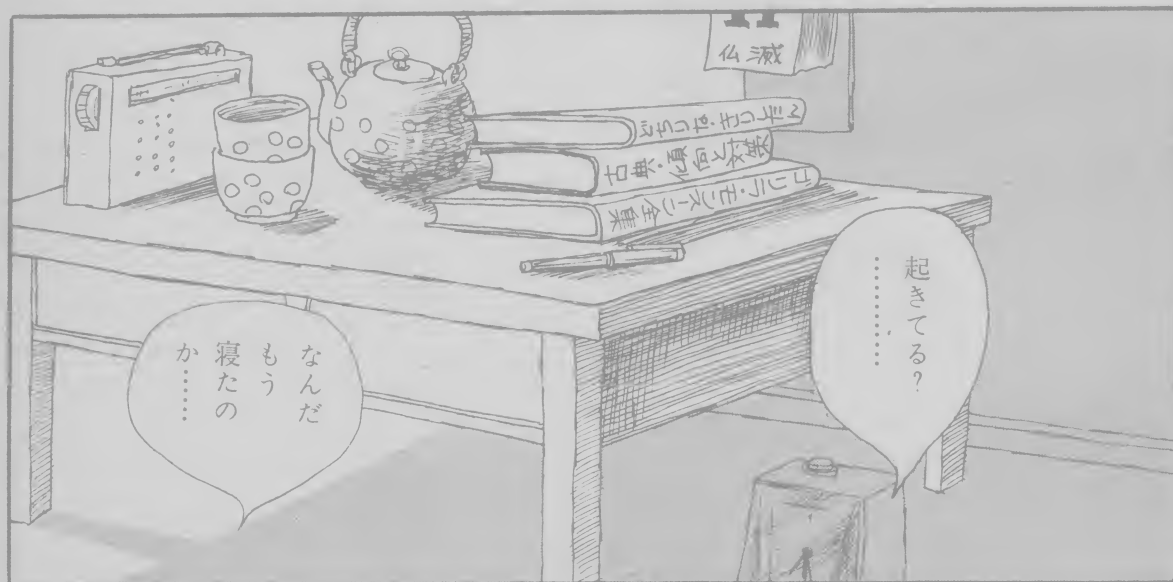
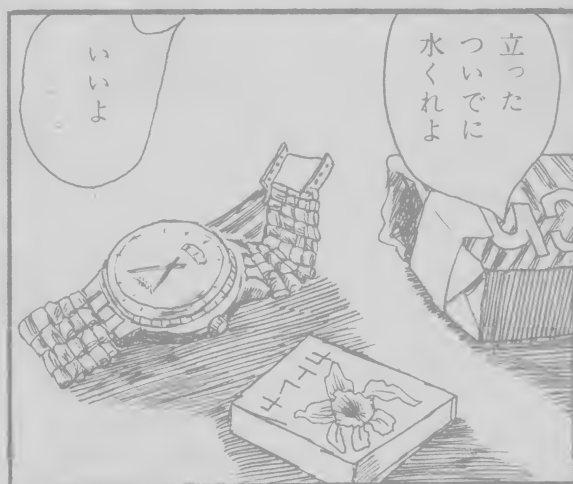
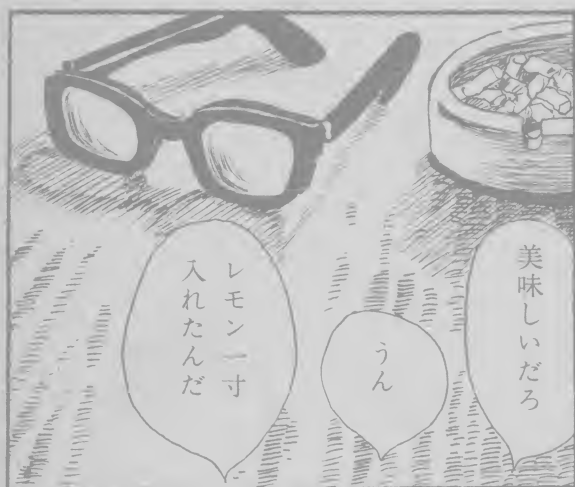
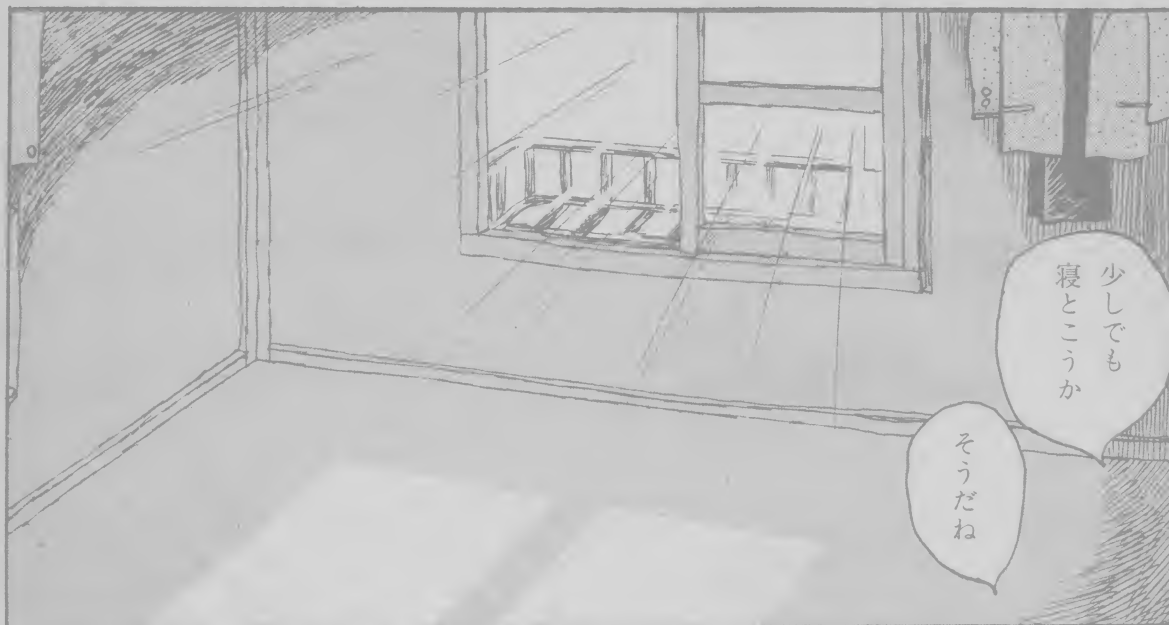
今、見てたんだ

何を

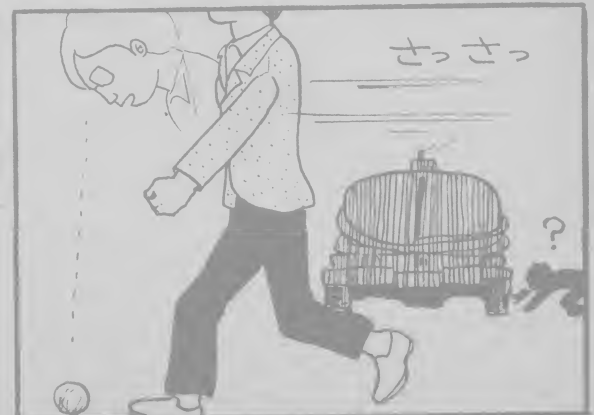
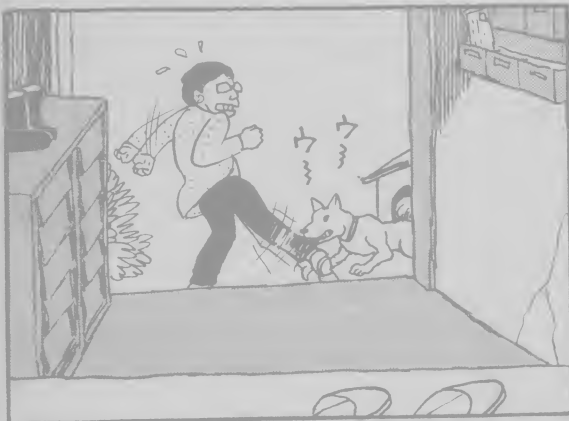


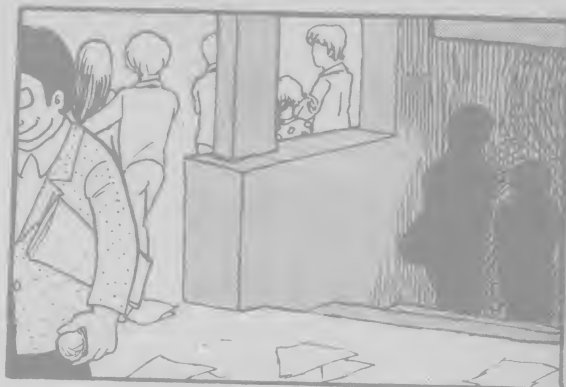
失なつた未来の
様だった

思い出ではなくて？

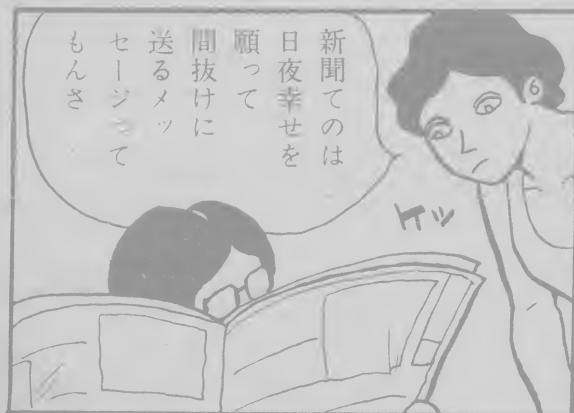


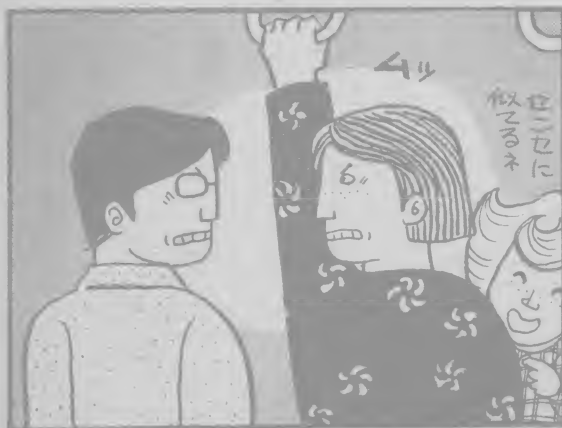






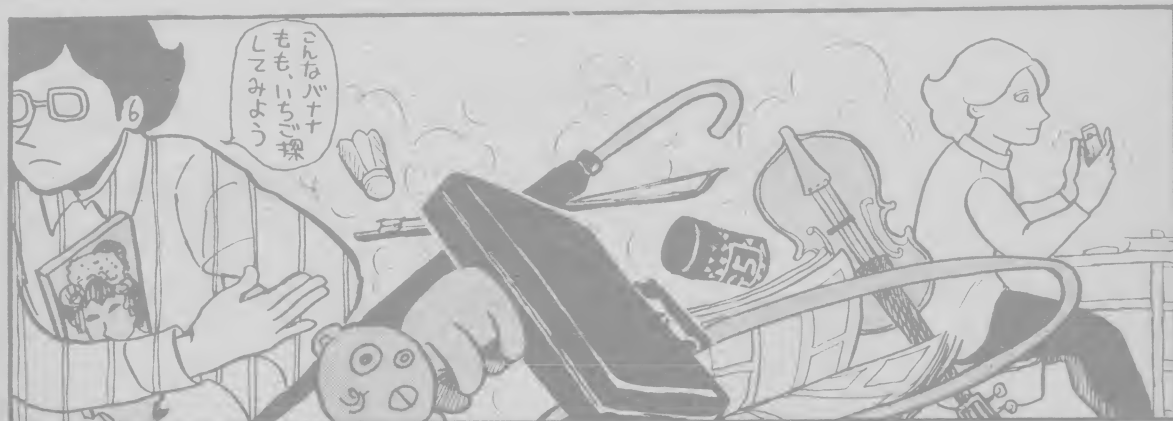


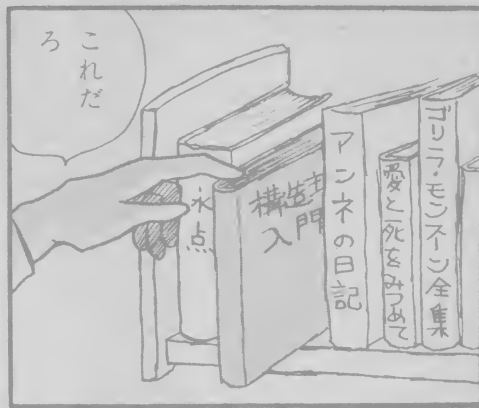




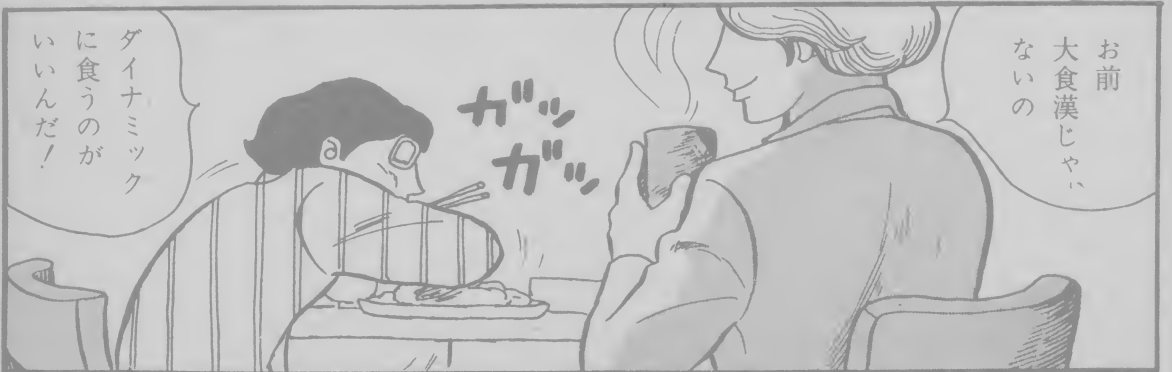
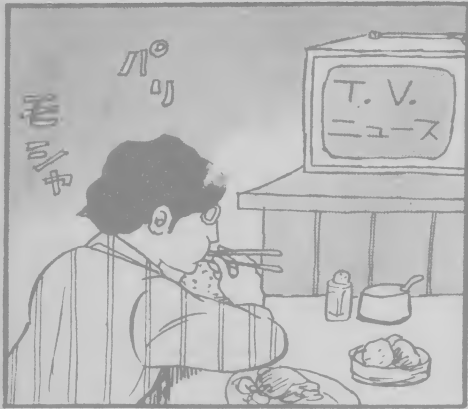
















大した
日記作家
で事ね



一寸流行遅れ
って感じだけど
やっぱ「実存」
だよ



小利口な
俗物と言
ったのさ



えっ
聞こえない
よ



じゃ聞くが
お前は無為
の異端者で
訳？

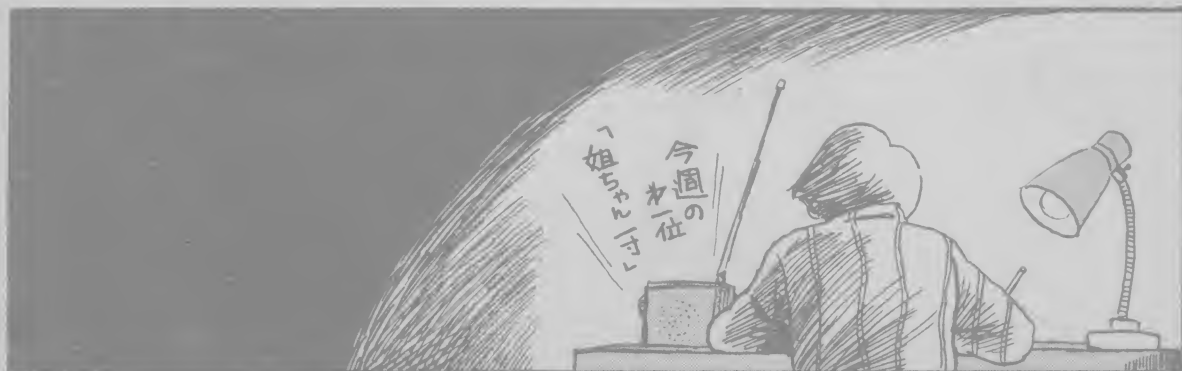
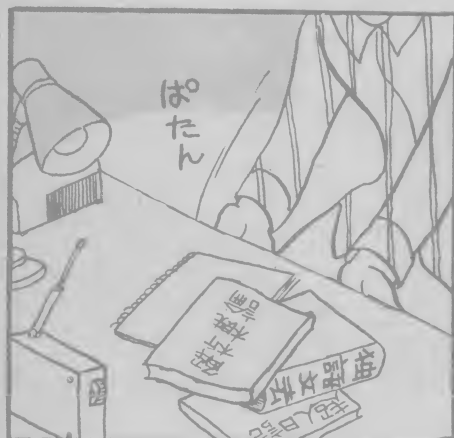
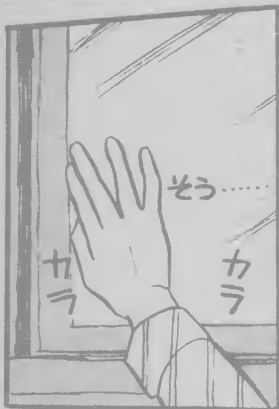


俺は
くたばる前に、
到来する惨劇を
解説している
だけさ



俺達には
断絶があるな



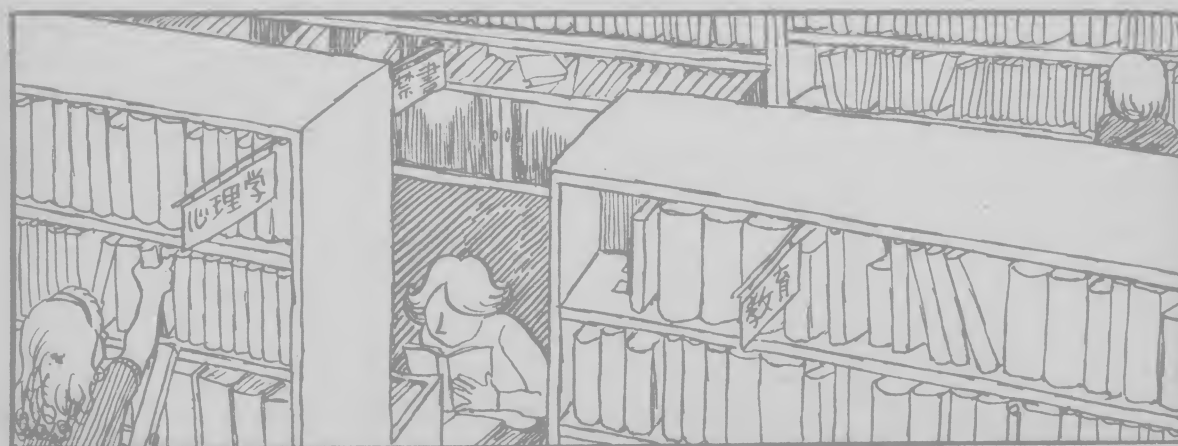


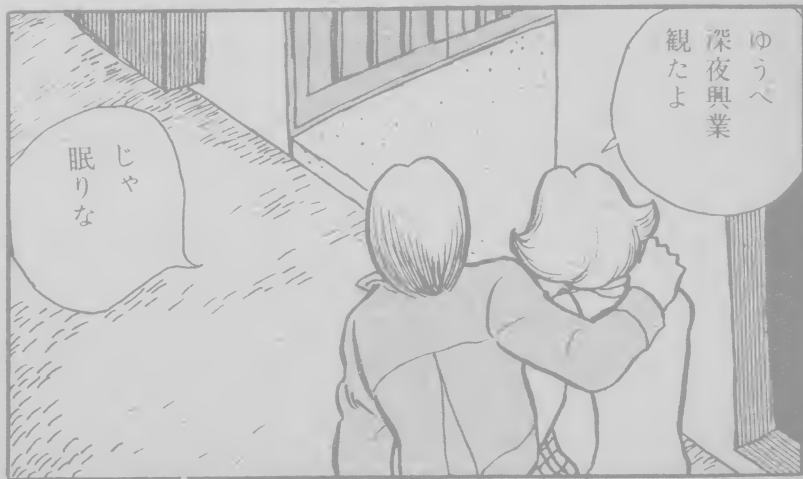
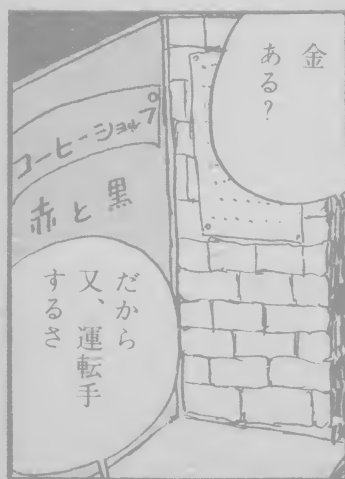
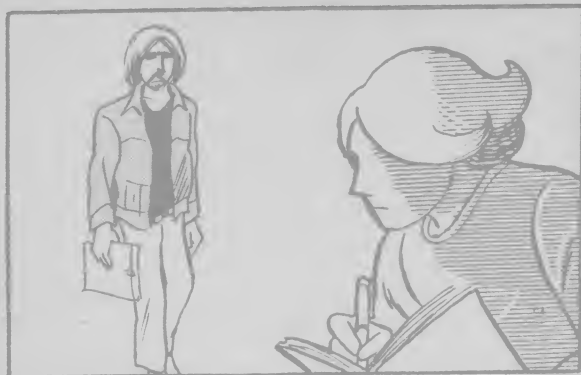
基本的結論





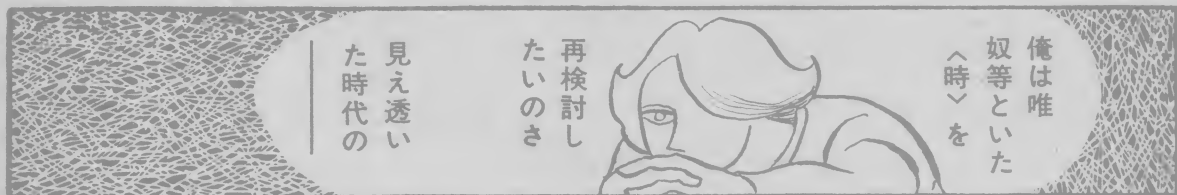
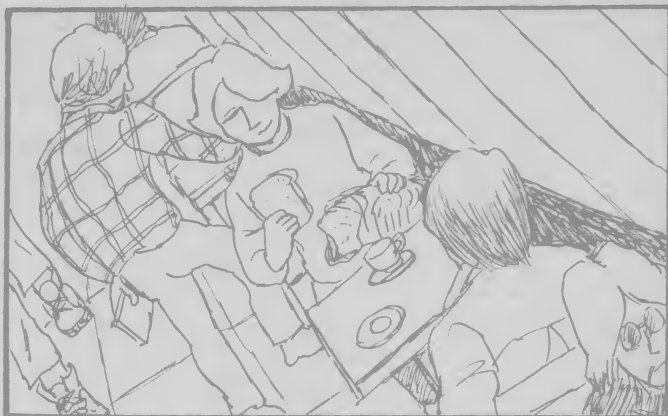








連中とは
まだ付き合
ってるの
か？



俺は唯
奴等とい
た
へ時を

再検討し
たいのさ

見え透い
た時代の



あらゆる情欲
の旋律と威嚇的
な不安のスタッカ
ートが高鳴る前で
断ち消えた奴等の
肉声の音信を
俺は再び聞いて
おきたいんだ

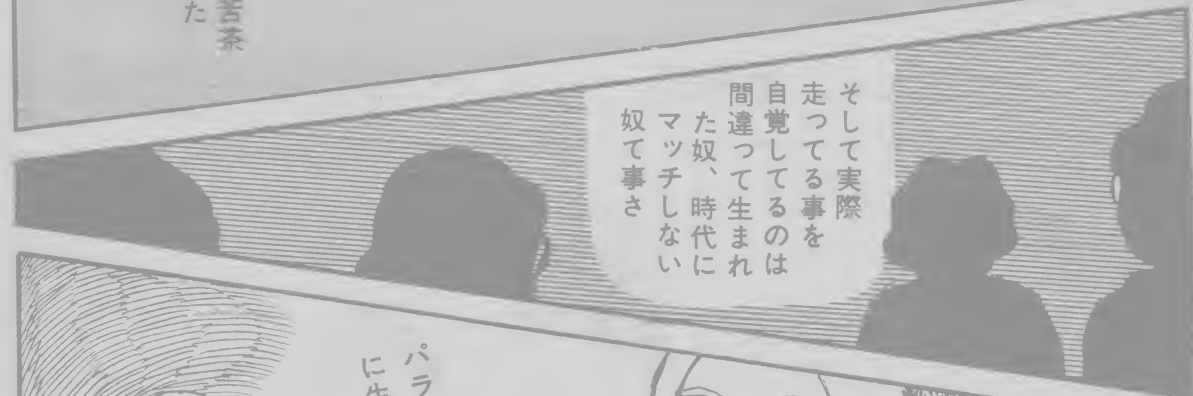
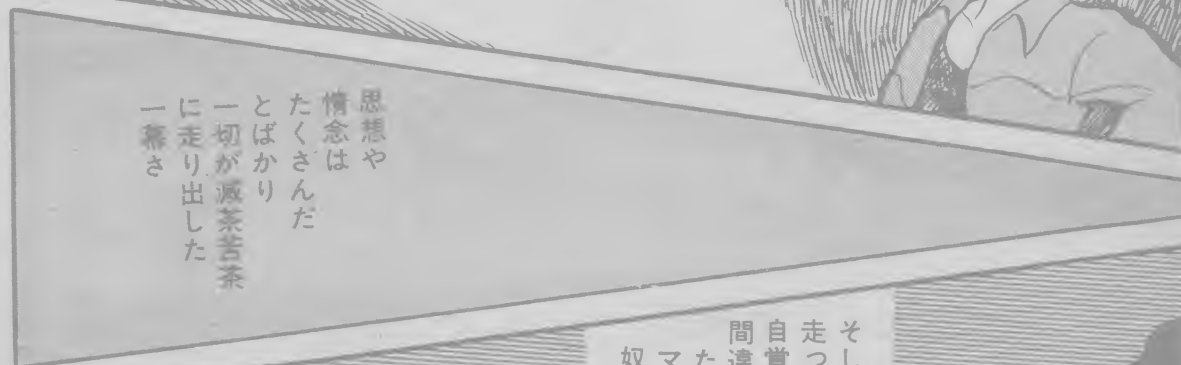
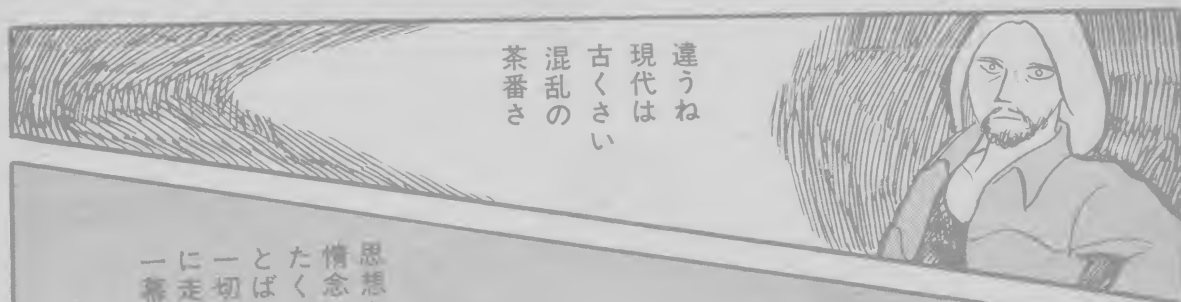


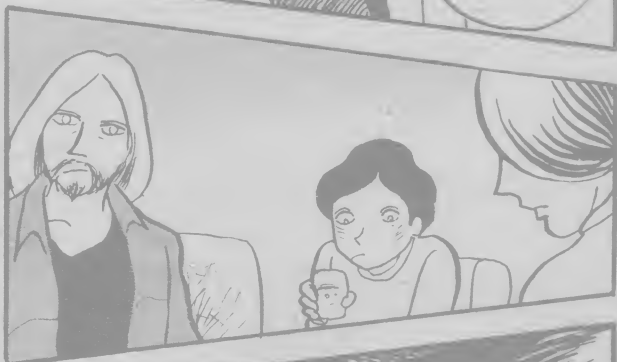
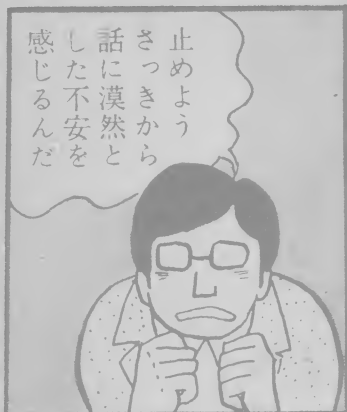
処で
お前の
恋歌どう
なったい？

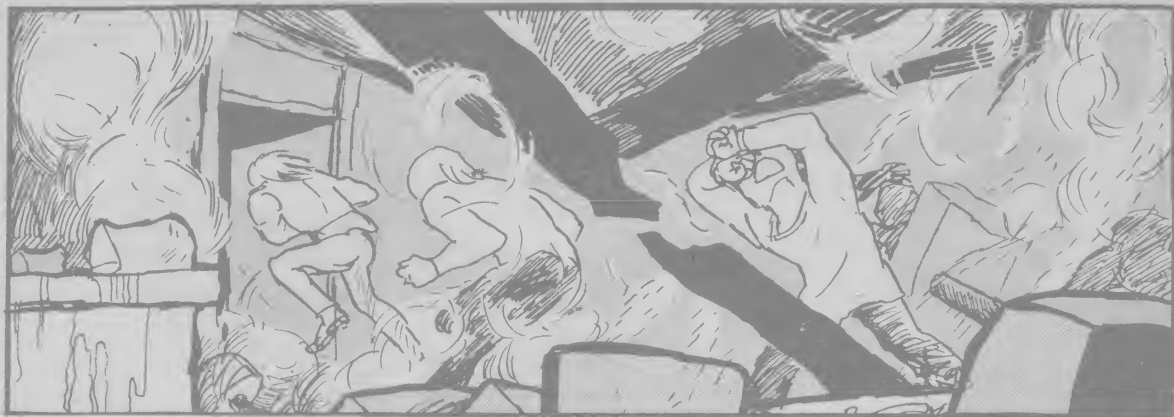












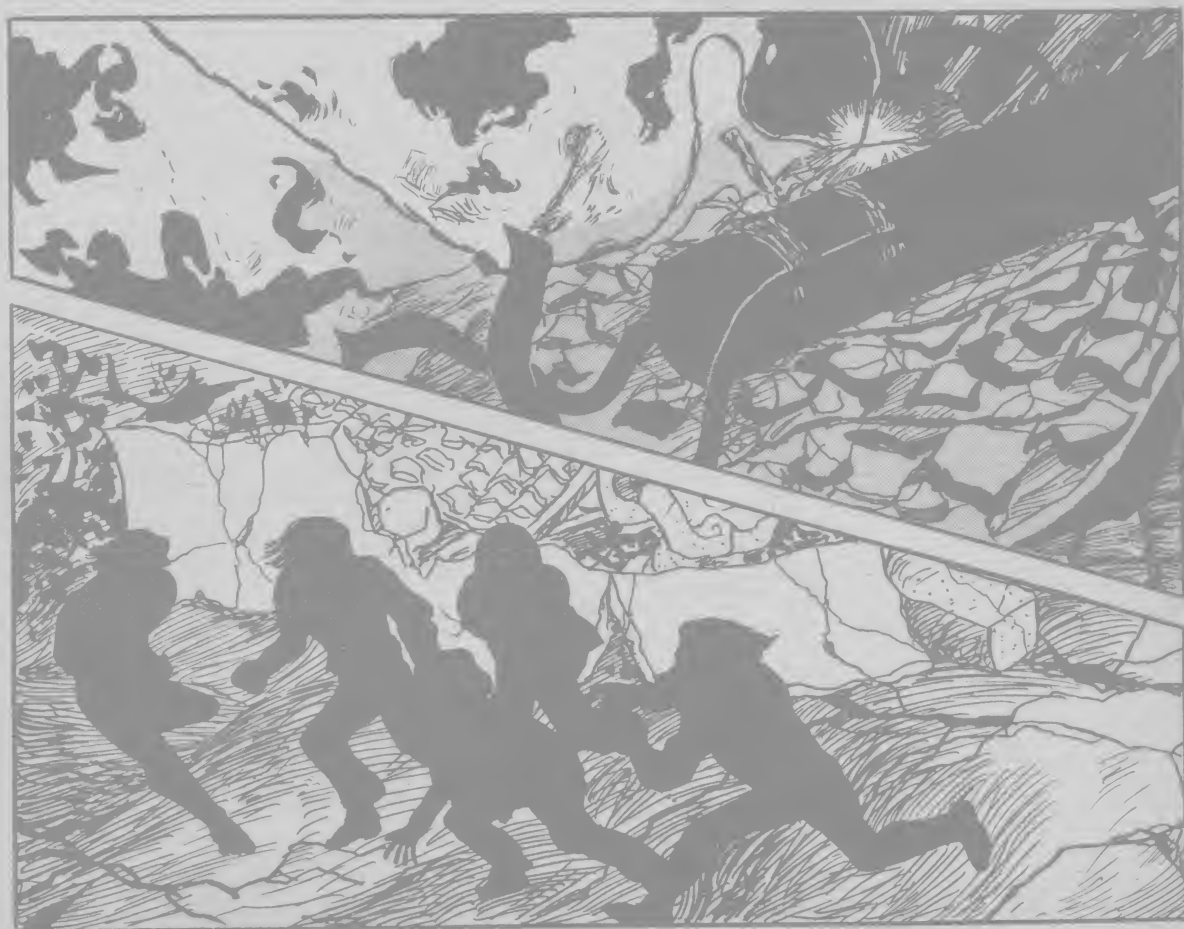


家々が倒壊し
て行く
地鳴りがし
大地が波打ち



大通りで
僕等は亀裂と
最初の屍体を
見る









そして、これが
到来した最初の
惨劇だと
僕等全員は
感じていた